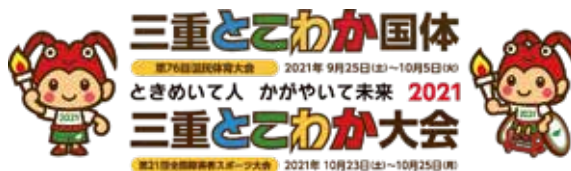


三重とこわか国体開催に向けて!

三重とこわか国体鳥羽市実行委員会事務局 ☎ 25 1271
(教育委員会生涯学習課スポーツ推進係)



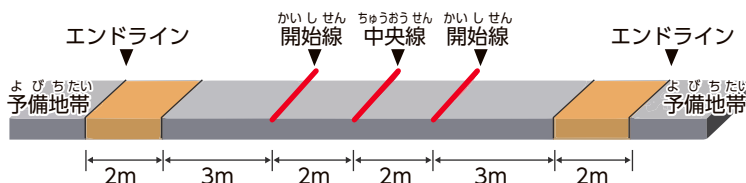
知ればもっと楽しいフェンシング

フェンシングとは、ヨーロッパ中世の騎士道が盛んなころ、「身を守る」「名誉を守る」ことを目的として発達した剣技です。その繊細かつスピーディーなテクニックは多くの人を魅了し、時を経て、その剣術を競う「競技」へと発展しました。フェンシングは、全国で約5,700人(日本フェンシング協会登録者数)以上のかたが楽しみ、より高い技術を身に付けるため、日々の練習を重ねています。その一方で、フェンシングについてあまり知らないかたも多いのではないのでしょうか。鳥羽市において、三重とこわか国体のフェンシング競技が開催されるにあたり、競技の魅力や鳥羽市で活躍する選手を紹介します。



フェンシングのルール

ピストと呼ばれる台の上で、片手に持った剣で互いの有効面を攻撃し合う競技です。種目はフルーレ、エペ、サーブルの3種類があり、各種目の特徴について「精密のフルーレ」「駆け引きのエペ」「スピードのサーブル」と表現されます。また、使用する剣の形状や、得点となる有効面、攻撃権(攻撃する権利)の有無などが、種目ごとに異なります。エンドラインから両足が出た場合は、相手に1ポイントが与えられます。



フルーレの見どころと鳥羽市で活躍する選手の紹介

攻撃は「突き」だけが許され、胴体部分を突くと得点が入ります。先に攻撃を仕掛けた方に優先権があり、相手に突かれたり、後ろに下がると攻撃権が相手に替わります。

攻撃と防御を交互に繰り返すのが特徴で、瞬時の技と剣のやりとりが見どころです。有効面を剣で500g以上の圧力で突くと、剣の先端にあるボタンスイッチが信号を送り、審判器の色ランプ(赤または緑)が点灯し、無効面だと白ランプが点灯します。



■部分が有効面

福井しあわせ元気 国体2018出場選手

三重県強化指定選手

※敬称略



松本 優
(鳥羽高校教諭)



那須 杏里
(鳥羽高校1年)



南 愛
(鳥羽高校1年)



新田 穂乃香
(鳥羽高校1年)



江崎 蒼一郎
(鳥羽東中学校3年)



木下 太陽
(鳥羽東中学校3年)

三重とこわか国体フェンシング競技リハーサル大会の中止のお知らせ

令和2年12月18日(金)~20日(日)に開催を予定しておりました三重とこわか国体フェンシング競技リハーサル大会「第73回全日本フェンシング選手権大会(団体戦)」について、選手や関係者の安全確保に留意しつつ、開催の可否について検討しましたが、公益社団法人日本フェンシング協会との協議の結果、全国規模の大会は各地から都道府県境を超えた宿泊や交通機関の利用が伴い、移動制限やソーシャルディスタンスの確保など、感染防止のガイドラインのクリアが困難であると判断し、開催を中止することになりました。

関係されるみなさまには多大なるご負担をお掛け致しますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けてご理解とご協力いただきますようお願いを申し上げます。

